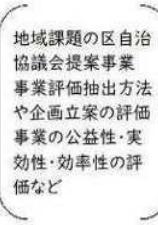


令和4年度

区自治協議会提案事業 事業評価書
令和5年3月24日

秋葉区自治協議会(広報部会)

区分	内 容
テーマ・事業名	コミュニティFMを活用した秋葉区自治協議会PR事業 【事業費予算 828千円】
事業目的・概要	秋葉区ならではの取り組みとして、秋葉区のコミュニティFMを活用し、自治協議会の活動や自治協議会かわら版「あきはくはつものがたり」のPRを行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加 者数など)	<ul style="list-style-type: none">■FM版「あきはくはつものがたり」 毎月第2水曜日の12時00分から30分番組の放送 (再放送は同じ週の土曜日9時から)■スポットCMの放送 8~3月:合計放送本数250本■かわら版「あきはくはつものがたり」を活用したPR 2号/年(運営事業費) 第30号:R4.9.4発行、第32号:R5.3.19発行 第30号は約21,800部、第32号は約21,500部発行し、新聞折込および個別配達のほか、公共施設等に配置
事業の評価  地域課題の区自治協議会提案事業 事業評価抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など	<ul style="list-style-type: none">■コミュニティFMの活用<ul style="list-style-type: none">○区民にとって身近なコミュニティFMを使っての情報発信は自治協議会の活動を伝えるためには有効な手段であると思う。○自治協議会活動PR事業として、年間12回(再放送を含め24回)のFM放送トーク番組を行ったが、今後も継続すべきと思う。○それなりの成果・効果はあったものと推察するが、どれだけの方がその放送を聴取したのか、その反応を測る手立てがないことに、歯がゆさを感じた。○トーク番組や、自治協議会の認知度をさらに高める必要があると感じた。 ■かわら版「あきはくはつものがたり」の発行<ul style="list-style-type: none">○途切れることのない自治協議会の活動や地域への情報発信を定期的に続けることができたこと、その発信を通じて、イベント等に参加していただく方々がたくさんいらっしゃったことについては、今年度の広報部会の活動が充実していたといえるのではと感じている。○新聞折り込みや個別配達などによる区内世帯への発送により、この紙媒体による広報紙としての認知度はかなり高いことが伺えた。○電子媒体に慣れていない人にとっては、紙媒体の「かわら版」が効果的だと思う。○作成プロセスにおいてより見易く自治協議会の活動内容が伝わるような紙面作りにやりがいをもって取り組むことができた。

○形に残る、読み返しができるのは、一過性にならず魅力だと思う。
○最近の新聞離れの中、申込で「広報にいがた」と一緒に、自宅に届くシステムがあることを知ってほしいと思う。
○この発行を楽しみにしている高齢者も多いのではないかと感じるため、もう少し高齢者向けの文字サイズや字体になっていても良いのではないかと思う。今後も継続していく必要を感じており、自治協の活動のPRに参加された一般の方々の声や活動風景をもっと掲載しても良いのではないかと思う。
○4コマ漫画も取り入れることで読者が楽しむこともできるため、続けたい。

■全体を通して

○FM版とかわら版「あきはくはつものがたり」の作成以外の情報発信もあるとさらに良い。
○自治協議会の存在を知ってもらうため、皆さんでおそろいのポロシャツで「にいつ夏まつり」の「新津松坂流し」に参加するのも良いと思う。
○若い世代、次世代の方々に発信していく媒体について、検討する必要があるよう感じる。
○SNSや映像媒体を使った広報も検討したい。
○トーク番組については、認知度をあげ、自治協を広報するために、手立てを考えたい。(反応を求めるなど、まずは状況を把握する方法を検討したい。)
○かわら版について如何に手に取ってもらうかをさらに工夫したい。
○読者の増加や読むまでの気軽さを求めることが必要。